

平成22年度健全化判断比率等の状況(三島市)(資料編)

1 実質赤字比率

対象会計に赤字額は発生していない。

【黒字額の算定】①と②の合算額 8.4億円

【早期健全化基準の算定】

$$\left\{ \frac{(20,080,903千円 + 100,000,000千円)}{120 \times 20,080,903千円} \times 100 + 20 \right\} \div 2 = 12.49\%$$

各会計実質収支額・剰余額

会計名	実質収支額・剰余額(千円)
① 一般会計	837,605
② 墓園事業特別会計	5,761
③ 国民健康保険特別会計	554,117
④ 老人保健特別会計	0
⑤ 介護保険特別会計	95,834
⑥ 後期高齢者医療特別会計	3,453
⑦ 駐車場事業特別会計	3,297
⑧ 下水道事業特別会計	54,388
⑨ 楽寿園特別会計	19,034
⑩ 水道事業会計	1,748,109

2 連結実質赤字比率

対象会計に赤字額は発生していない。

【黒字額の算定】①～⑩までの合算額 33.2億円

【早期健全化基準の算定】

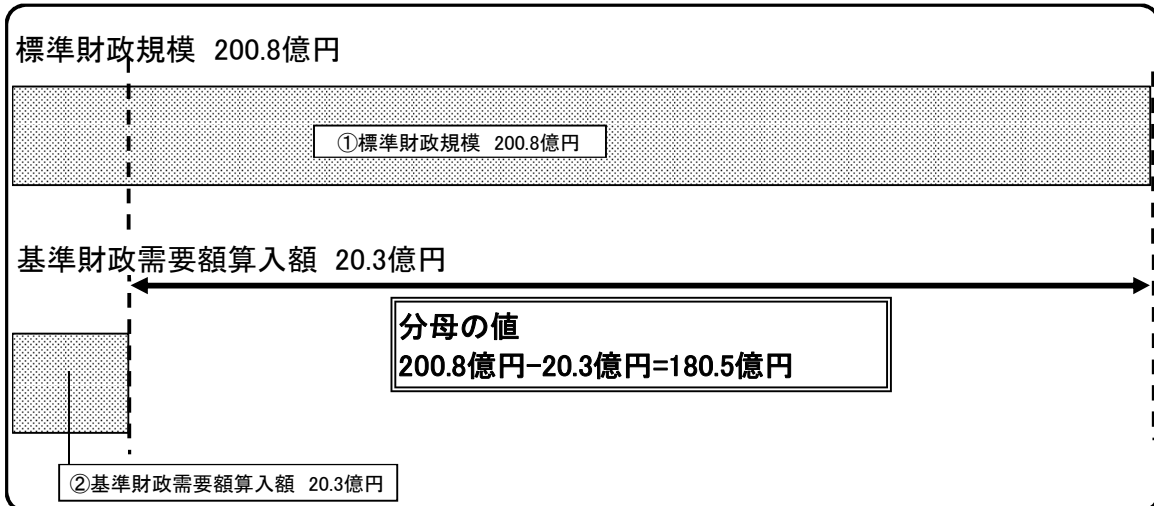
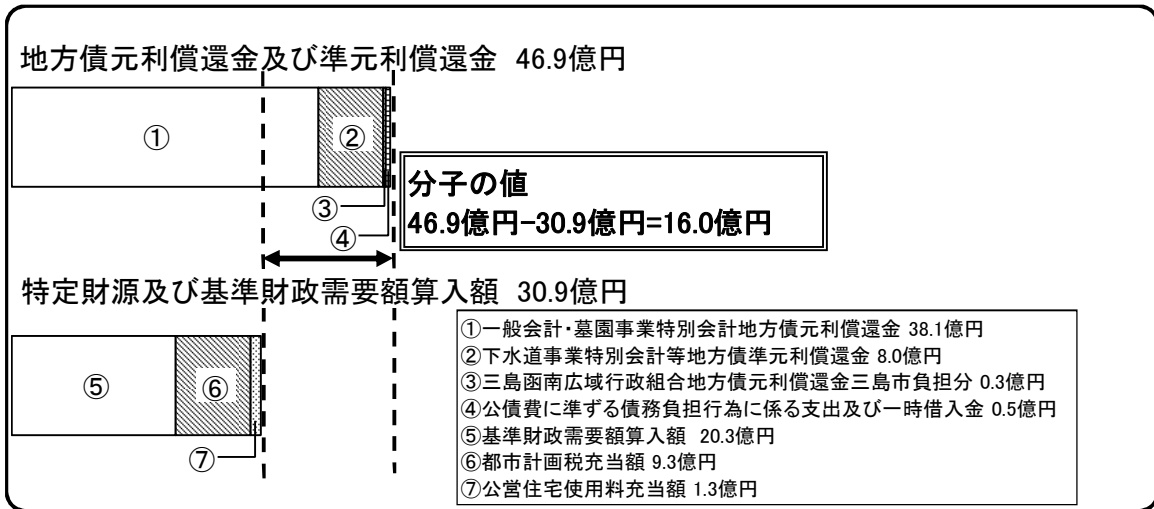
$$12.49 + 5.0 = 17.49\%$$

3 実質公債費比率

$$\frac{8.51304(\text{H20単年}) + 8.51076(\text{H21単年}) + 8.86061(\text{H22単年})}{3} = 8.6\% \quad \text{小数点以下第2位切り捨て}$$

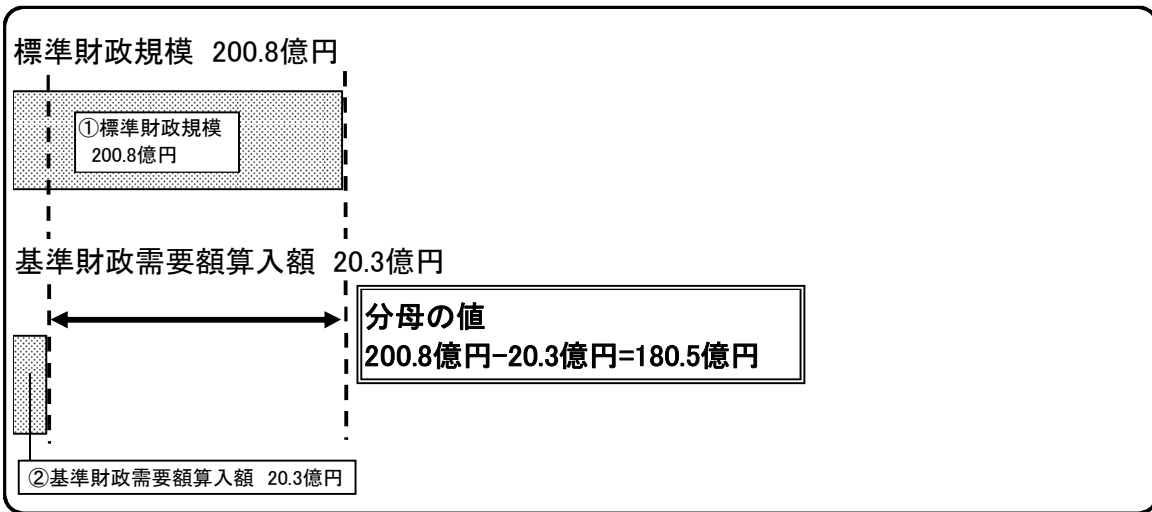
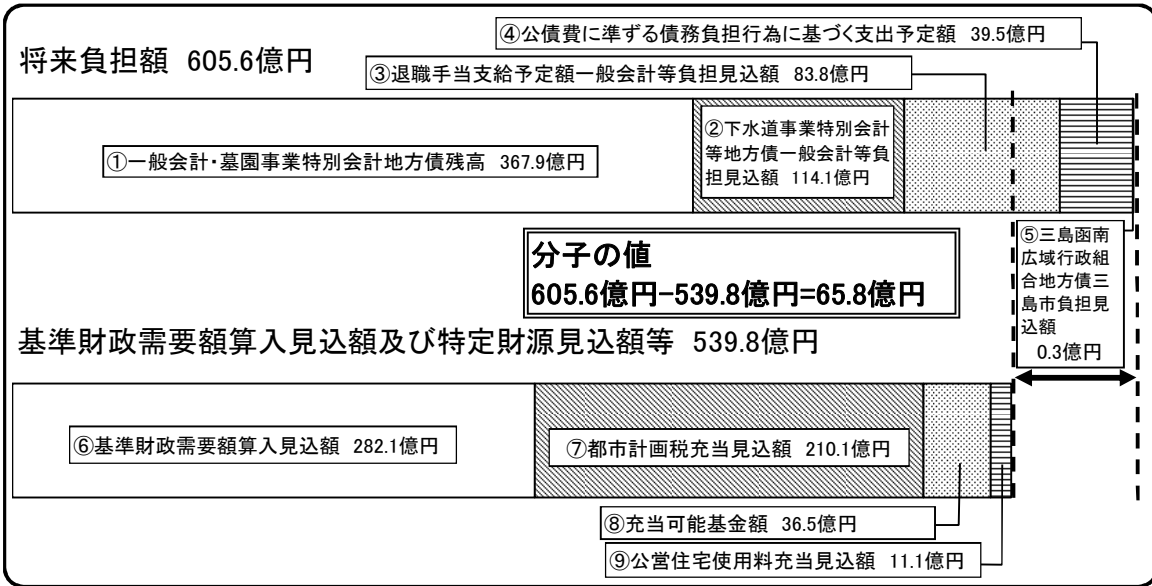
【平成22年度単年度の詳細】

$$\frac{16.0\text{億円}(1,599,321千円)}{180.5\text{億円}(18,049,782千円)} \times 100 = 8.86061$$



4 将来負担比率

$$\frac{65.8 \text{ 億円}}{180.5 \text{ 億円}} \times 100 = 36.4\% \quad \text{小数点以下第2位切り捨て}$$



5 資金不足比率

対象会計に赤字額は発生していない。

※「1 実質赤字比率」及び「2 連結実質赤字比率」における表「各会計実質収支額・剰余額」参照 ⑧～⑩